

水痘予防接種説明書

1 「水痘」について

- 水痘は「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスの空気感染、飛沫感染、直接感染により広がり、潜伏期間は感染から約2週間程度とされています。感染力の強い病気で、5歳までに約80%の子どもがかかるとされています。健康な小児の場合、一般に軽症で済みますが、中には症状が長引き重症化し、入院したり、死亡することもあります。

〔主な症状〕

○全身に小さな赤い発疹、水疱、膿疱（粘度のある液体が含まれる水疱）が現れ、同時期にさまざまな段階の発疹が混在します。また強いかゆみを伴います。治っていく時はかさぶたになって自然に剥がれていきます。

○発熱は、38度前後が数日程度で、一週間程で落ち着いてきます。

〔主な合併症〕

○まれに熱性けいれん、肺炎、気管支炎等を起こす場合があります。かゆみにより発疹や水疱を引っかくなどをして、細菌感染症を起こし、化膿したり瘢痕が残ることがあります。

2 「水痘ワクチン」の効果と副反応



- ①水痘ワクチンは弱毒生ワクチンです。1回目の接種で重症の水痘をほぼ予防でき、2回目の接種で軽症の水痘を含めてその発症を予防できるといわれています。
- ②接種後の副反応として、注射部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、痛みなどがあります。注射部以外の副反応として、発熱、発疹などがあらわれることがあります。通常一時的なもので、数日で消失します。
- ③重い副反応としては、極めてまれにショック、アナフィラキシー様症状、けいれんなどがあらわれることがあります。

3 予防接種のスケジュール

【対象年齢】：1歳から3歳に至るまでの間

【接種回数と方法】：2回、皮下注射

（標準的には1回目の接種を1歳～1歳3か月までに完了し、2回目の接種を1回目接種後6～12ヶ月の間隔をおいて完了するのが望ましい）

	1回目	2回目
接種回数	 一回接種	 一回接種
接種間隔	← →	
	2回目の接種は、1回目の接種から3ヶ月以上経過してから可能ですが、標準的には1回目接種後、6～12ヶ月まで経過した時期に行うこととなっています。	

※ すでに水痘にかかったことがある場合は定期接種の対象外です。

※ すでに任意接種として水痘ワクチンを受けたことがある場合、その接種した回数分は接種済みとみなします。（裏面もご覧ください）

4 予防接種による健康被害救済制度について

- 定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。
- 健康被害の程度に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する又は障害が治癒する期間まで支給されます。
- ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に給付を受けることができます。
- 予防接種法に基づく定期の予防接種として定められた期間を外れて接種を希望する場合、予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。その接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医療品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることとなりますが、予防接種法と比べて救済の対象、額等が異なります。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、保健所、雨竜町住民課へご相談ください。

5 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行なうことが原則です。お子様の健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

●以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ①明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）。
- ②重い急性疾患にかかっている方。
- ③その日に受けるワクチンに含まれる成分でアナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）をおこしたことがある方。
- ④その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方。

●次の方は、接種前に医師にご相談ください。

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方。
- ②過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方。
- ③過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- ④過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ⑤このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方。

6 接種後の注意

- ①接種後30分間は医療機関にいるなどして様子を観察するか、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ②接種後1週間は副反応に注意しましょう。接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- ③接種後は、接種部位を清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- ④接種当日は、激しい運動はさけてください。
- ⑤接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、27日以上の間隔をあける必要があります。

問い合わせ先:住民課 保健担当 電話 77-2212